

兵庫県議会議員

春名哲夫

県政報告

第4号

■発行日 平成25年3月21日

■発行者 春名哲夫



第314回 兵庫県 議

就任二年目にして二回目の一般質問

左記の五項目について四十五分間、分割及び一問一答方式で登壇
黒字は知事に対して事前通告、緑字は言いたいことの要旨です。

1 本県の自主財源確保と 社会基盤整備について

●質問内容

予算がないから
との理由で宍粟
市の農免農道の
入札がストップ
している現状、
未利用の県有財
産の処分を考え
るべきである。



ストップしている農免農道

●質問内容

加美宍粟線、岩
野辺山崎線、三
方から上岸田の
429号線など
地元の協力が得
られているにも
関わらずプログ
ラムから外れて
いる県道は早期着工すべきである。



狭小の県道加美宍粟線

3 兵庫の住みやすさについて

●質問内容

兵庫に住みたい、住んで良かったと
言えるのは何か、全国的地域の豊か
さを表す指標や幸福度ランキング等
分析して21世紀兵庫長期ビジョンを
フォローアップすべきだ。

4 県立高校の小規模校の活性化 と今後のあり方について

●質問内容

平成27年から高校
通学区域が再編さ
れる、我が宍粟市
の千種高校の連携
型中高一貫校の存
続を確立すると共
に兵庫県以外から
も通学を可能とすべきではないか。



県立千種高校

2 地域の独自性をより発揮する 為の県民局のあり方について

●質問内容

平成二十三年度創設した地域夢推進
費は大いに評価する。各県民局長の
リーダーシップが充分生かせる現地
解決型の県民局であるべきだ。

5 県民の安全・安心を守る警察 安全相談の充実強化について

●質問内容

人事異動によりDVやストーカーを
はじめとする相談体制が強化された。
刑事事件のほか、家庭・近隣関係や
トラブルからの取引等、多岐にわた
る相談窓口を充実すべきである。



傍聴席には宍粟市から応援団



一問一答にて力説



H24.10.3 早くも2回目の登壇

議会傍聴

関西広域連合の現状

※「丸ごと移管」とは、現行の国出先機関の事務権限・財源・職員をそのまま移管することであり、無くすものでも廃止するものでもありません。

国家公務員約32万人と言われる中、国出先機関では約20万人が働いている巨大な組織であり、東京霞が関本省のコントロール下にありません。

広域連合に移管されれば地方の首長や議会のガバナンスの下に置き地域住民身近な意思が伝わり公平性や透明性が向上するでしょう。まさに地方分権改革であります。

しかしながら昨年民主党政権時には「国の特定地方行政機関の事務等の委譲に関する法律案」は閣議決定されたものの衆議院が解散され自民政権では道州制が出てまいりました。
(第五号で道州制との比較を掲載)



H25年3月2日の広域連合議会



広域連合議会議を傍聴したときの写真
嘉田知事の二男と私の長男が同じ大学で同じクラスだったものですから親しくお話をいたしました。

国出先機関の移管を確実なものとしていくために、当面、移管対象を絞り込む事とし、九州知事会と共に、まず次の三機関について「丸ごと移管」を求めています。

【経済産業局】
中小企業支援策を中心に広域連合や府県事務との関係が深く移管により地域で総合的な産業施策を展開できる。

【地方整備局】
全国知事会が最重点分野と位置づけている直轄国道・直轄河川など住民生活に直結する基本的なインフラ整備を行う機関。

【地方環境事務所】
山陰海岸国立公園の管理などを担う機関で、関西広域連合が担う観光振興山陰海岸ジオパークの推進にも密接関連。移管により景観保全や地域振興など総合的な行政が可能になる。

関西広域連合 議席図



府県名	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	和歌山県	鳥取県	徳島県	大阪市	堺市	京都市	神戸市	計	現在の議員定数は経過措置であり、議員定数検討部会においてH25年6月までに結論を得ます。
議員数	3	3	5	4	3	3	3	2	1	1	1	29名	

府 県 名	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	和歌山県	鳥取県	徳島県	大阪市	堺市	京都市	神戸市	計(千円)
総務費(資格試験含む)	33,182	33,182	33,182	33,182	33,182	20,280	33,182	33,182	33,182	33,182	33,182	352,100
広域防災	998	1,865	6,271	3,953	709		556	1,123	355	621	651	17,102
広域観光・文化振興	2,298	4,856	6,945	6,769	2,167	1,580	1,584	1,539	505	1,539	930	30,712
広域産業振興	1,759	3,174	11,690	6,403	1,215	657	925	2,232	599	1,031	906	30,591
農林水産	201	282	208	531	454	290	318	6	10	29	26	2,355
特区推進・均等		600	600	600				600		600	600	3,600
広域医療(ドクターヘリ)	9,000	42,692	68,827	106,597		4,506	81,964					313,586
広域医療人口	290	543	1,824	1,150	206	121	162	123	39	68	71	4,597
広域環境保全	1,544	2,885	9,702	6,116	1,097		860	1,738	550	961	1,007	26,460
広域職員研修	414	414	414	414	414		414	414	414	414	414	4,140
総 計	49,685	90,492	139,664	165,714	39,444	27,436	119,963	40,956	35,653	38,446	37,787	785,240
ドクターヘリを除いた総計	40,685	47,800	70,837	59,117	39,444	22,930	37,999	40,956	35,653	38,446	37,787	471,654

関西広域連合 平成25年度予算 兵庫県は1億6500万円の出資

播磨広域連携協議会 構成市町位置図



であり観光施策の連携や広域防災体制の確立に取り組んでおります。
 二十五年三月には女性限定の酒造巡りバスツアーが計画されており山崎の酒蔵も予定されておりあります。関西広域連合のドクターヘリ運航に示すように広域で一体性をもった取り組みに賛同いたします。

- 会長 姫路市長
- 副会長 たつの市長・小野市長
- 監事 稲美町長・多可町長
- 理事 福崎町長・佐用町長

防災や観光などの広域的な課題に各自治体が協力して総合力を高めるため姫路市の呼びかけで合併を前提としたものではなく、各市町の枠を超えて広域課題に対応するものであります。構成市町は
 ＊ 姫路市、加古川市、たつの市、高砂市、相生市、赤穂市、宍粟市、西脇市、三木市、小野市、加西市、加東市、稲美町、播磨町、市川町、福崎町、神河町、太子町、上郡町、佐用町、多可町
 以上の十二市九町

播磨広域連携協議会は

総務部会地方分権推進プロジェクトチーム 年間活動計画

No	年月	項目	対象者
1	H24.06.上旬	設置要項、PTメンバー確認、年間活動スケジュール協議 等	PTメンバー
2	H24.06.30	関西広域連合議会傍聴(大阪)	2～3名程度
3	H24.07.中旬	「関西広域連合の設立について」(広域連合設立の経緯、国からの権限移譲の進捗状況と今後の課題、全国の動き 等)	PTメンバー
4	H24.08～上旬	「自民党における道州制の議論について」(自民党が描く道州制のイメージ、道州検討経緯と実態、今後の方向等)	全議員
5	H24.08.上～中旬	管外調査の検討Ⅰ(他府県等訪問調査の検討)	PTメンバー
6	H24.08.23	関西広域連合議会傍聴(鳥取)	2～3名程度
7	H24.09.中旬	「日本における道州制度論議について」(各党の動き、政府の動き地方の動き、道州制のメリット、デメリット 等)	全議員
8	H24.09.中旬	管外調査の検討Ⅱ(スケジュール、参加者決定 等)	PTメンバー
9	H24.10.上旬	管外調査の検討Ⅰ(訪問国の検討 等)	PTメンバー
10	H24.11.中旬	関西広域連合議会傍聴	2～3名程度
11	H24.11.下旬	管外調査の実施	
12	H24.11.下旬	地方分権PT中間報告書作成、海外調査の検討Ⅱ(内容・スケジュール参加社検討)	
13	H24.12.上旬	中間報告の実施、海外調査参加者募集	
14	H25.01.上旬	海外調査の検討Ⅲ(内容スケジュール、参加者決定)	PTメンバー
15	H25.02.上旬	海外調査の実施Ⅰ(1班)	
16	H25.03.上旬	関西広域連合議会傍聴(大阪)	2～3名程度
17	H25.03.下旬	海外調査の実施Ⅱ(2班)	
18	H25.04.上旬	海外調査実施報告書作成	
19	H25.04.上旬	地方分権PT最終報告書作成	PTメンバー
20	H25.04.中旬	地方分権PT最終報告	PTメンバー



姫路市 石見市長と

地方分権の推進
 地方分権の進展に伴い都道府県を取り巻く環境が大きく変化している中、国と地方の関係を構築する選択肢で道州制や広域連合等在り方についてプロジェクトチームを作って研究を重ねております。播磨広域連携協議会も地方行政の在り方であり下記のドクターヘリについても個人的に親しくして頂いております姫路市石見市長とも協議を重ねてまいりました。ドクターヘリ運営は来年度からは関西広域連合の予定です。

ドクターヘリ 15分以内に 宍粟市へ



県内初の民間病院併設型の救命救急センターとして、製鉄記念広畑病院に於いて建物が完成して本年四月より本格運用。それに伴い十一月より準基地としてドクターヘリが宍粟市圏内十五分で救命活動可能になります。過去に中・西播磨の第三次救急医療圏域で救急患者のたらい回し(後に死亡)などから、県と市の支援で播磨の救急医療体制が前進したと言えるでしょう。

県立循環器病センターに於いてもドクターヘリの離着陸整備の計画中です。

県政報告第3号で記載したように宍粟市のドクターヘリに関して、県議会予算特別委員会での徹底した質問・提案による結果であると納得いたしております。今後は早急に宍粟市内のドクターヘリ離着陸環境の構築が求められます。



竣工式で祝辞を述べる井戸知事

西播磨ふるさと特産館

好きやの西播磨

「アンテナショップ」3月23日オープン

県政報告第3号で記しました「神戸に宍粟市の大使館を」の思いが実現。西播磨四市三町の西播磨県民局の事業としてスタートします。これからの宍粟市活性化にご支援とご協力をお願いいたします。

場所は神戸市北野町三丁目一番八号（神戸異人館通り）館長 西嶋收一氏（元西兵庫信用金庫常務理事）

総括 本年三月、姫路鳥取線佐用から鳥取まで全面開通いたします。阪神地区から鳥取までは中国縦貫道佐用経由が予想され、益々宍粟市及び国道29号線がいつそう衰退する恐れがあります。

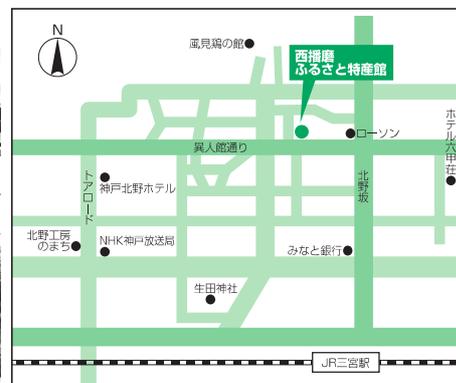
兵庫県と鳥取県が連携して鳥取から宍粟市（R29）經由阪神地域帰りを考えなければなりません。（井戸知事）

宍粟市は新宮駅を注視してゆくべきである。（利用促進活性化同盟会）又、山崎と三宮を結ぶ高速バス（ウエスト神姫一日十往復）の運行を利用するなど山崎インターを宍粟市の玄関と考える。

目的 人口減少、高齢化が進む宍粟市に於いて昼間人口が増大する策や観光や名所周遊によって宍粟市に金融流通が起る方法さらには農家の所得向上や高齢者の生きがいと喜びを求めたい、宍粟市の活性化と宍粟市民の幸せを追求したい。

方法

- 一、宍粟市（西播磨）の特産物・農産物のアンテナショップを神戸に出店し毎日新鮮な農産物・特産物を送り込む。
二、宍粟市内で観光ルート（名所）を設定して日帰りコース、宿泊コースによってお客様をお迎えする。
三、古民家・空き家を利用して一ヶ月・半年等、期間滞在、受け入れプラン作成。（楽農生活）
四、運営 一般社団法人、宍粟大使館（宍粟市山崎町）



西播磨特産館では、宍粟市の特産品や農産物の出品を募集しております。詳細は春名までお問合せください

春名哲夫の活動日誌

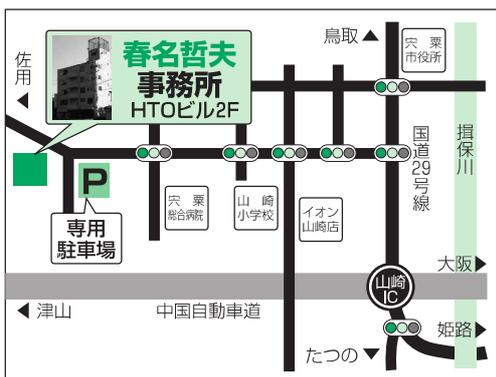
Table with 2 columns: Date (11月1日 to 8日) and Activity (e.g., 農政環境常任委員会管内調査, 議員団総会).

Table with 2 columns: Date (29日 to 9日) and Activity (e.g., 山崎クラブゴルフ大会, 議員団総会).

Table with 2 columns: Date (21日 to 12月1日) and Activity (e.g., 西播磨県民局行事, にしんクラブ後援会懇親会).

事務所のご案内

〒671-2576 兵庫県宍粟市山崎町 鹿沢237-5 (HTOビル2F) TEL.0790-63-0770 FAX.0790-63-0760 E-mail info@harunatetsuo.jp (春名直通) office@harunatetsuo.jp (事務局) URL http://www.harunatetsuo.jp/



春名哲夫 検索